

ごみ減量啓発活動 開催報告

整理番号:20220904

イベント名	新・パートナーシップ・ミーティング 2022 ブース出展 『紙容器リサイクル事業からSDGs体験につなぐ』
-------	--

実施内容	
活動日時	2022年9月4日(日)10:00~16:00 ポスター等展示 9/2(金)13:00~開始
活動場所	浜松市市民協働センター
活動者名	村河善信
詳細	ごみ減量取り組みとして今回は、企画運営を行っている「紙容器リサイクル」事業を紹介しました。SDGs12行動「つくる責任 つかう責任」の「つかう責任」を”自分ごと”として行動できる事業スキームの紹介です。また、本事業を今後広く啓発するための工夫などを参加者の皆さんの知恵をお聞きする場として「アンケート」を実施しました。

事業の様子と成果	<p>常駐してご案内したのは、9月4日(日)13:30~16:00 配布物 啓発チラシ23枚、回収用手提げ袋21枚、ごみ減量啓発ウエットティッシュ20個 使用済ハブラシリサイクル事業チラシ18枚 (会場にて ・紙容器事業について説明した方、全員にアンケート実施。回答者18名 ・以下のような感想・反応があった。 1. ヨーグルトの箱をもやすごみに入れる時には必ず洗浄して入れていた。これを回収してくれるとは、もえるごみが減り大変良いアイデアだ。 2. 浜松市民の方以外(静岡市や磐田市の方)からは、浜松市は良いことをしている。当市にも導入することはできないかな？ 3. 資源物の日に出せると有り難い。 4. 回収拠点を増やせば紙容器を出す人も多くなると思う。 多くの方が、興味を持って説明を聞いてくれた。</p> <p>★アンケート結果 回答者18名(20代 4名・30代 5名・40代・50代・60代 各2名) 居住区:東区3名、中区・南区各2名、市外8名(磐田市・袋井市・掛川市など) Q1.環境マークを知ってる? 「見たことがある」7名 Q2-1 紙容器リサイクル事業を知ってる? 「今日知った」10名 Q2-2 紙容器がリサイクル事業に協力できますか? 「協力したい」14名 Q2-3 どのような広報が必要だとおもいますか?(複数回答) 「SNS」10名、「ロコミ」8名 「イベント参加・新聞掲載」各6名 Q2-4 回数システムをどのようにしたら協力できますか?(複数回答) 「行政の定期的な回収」9名 「スーパー等の店頭回収」8名、「協働センターでの回収」5名 Q3-1 3Rを知っていますか? 「よく知っている」12名、「名前だけは知ってる」5名 Q3-2 家庭ごみ減量に向け今後、実践していただけることは?(複数回答) 「残さず食べる」9名、「生ごみ水切り」8名、「紙容器リサイクル」4名、「紙パッキリサイクル」6名 <意見・感想> ・この事業(紙容器の回収)は、素晴らしいアイデア。(口頭で「私は、もえるごみに出す時も、洗っていた。手間は一緒だ」)。 ・ヨーグルトの箱、歯ブラシをもえるごみに入れるのはもったいないと思っていました。回収は、大賛成です。</p>
----------	--

記録添付

